

福岡県建築士会 女性部会（委員会）

会員数 58 名 1992 年設立

◆花ば咲かせ隊（福岡支部女性委員会・青年委員会・まちづくり委員会）◆



1994年に「花ば咲かせ隊」立ち上げ、市民グループや各団体と協力して花と緑のまちづくりを支援しています。1998年99年には海の中道海浜公園に、直径70mのひまわりの花壇やゲートを作成し話題を呼びました。2004年からは釜山-福岡「花・緑・水交流」を重ねています。委員会・青年委員・災害対策委員会の協力で、他諸団体とのネットワーク

がうまくいっています。行政と市民のかけはし、大学とのかけ橋ができるようになりました。

（写真1・2）



継続は力なり

◆北九州市市民のための女性大学（北九州支部）◆

平成14年からプロデュース。毎年、受講者の皆様には大好評です。そして「女性のための市民建築大学」の活動を通し建築士の役割を認識していただき、また、委員会としては連絡網の充実を得ることができ、若いスタッフの活躍の場を提供することにより、設計士としての質を向上させるに至りました。



◆猿喰（さるはみ）新田塩抜き穴清掃活動（北九州支部）◆



「汐抜き穴」は潮の満ち引きを利用して土壌の汐を抜き新しい田を作るための土木遺構で歴史学習などに使えるよう、平成12年より毎年、地域の人々や保存会のメンバー・小・中・高校生と草刈りや清掃活動を行っています。小学生の描いた絵で案内の看板を作成しました。また、クイズ形式でため池を回るスタンプラリーで小学生や参加したボランティアの方々と楽しみながら歴史を学びました。

そして世界へ

台湾台北市「台北国際花の博覧会」出展

2010年11月6日～2011年4月25日



<エコ・アジア・五感に庭>

長崎県建築士会 女性委員会

会員数6名 平成2年設立

長崎歴史文化博物館（会場）



- 九州パッシンインながさき（九州8県より参加の大会）大会運営実行協力及び分科会を企画運営担当

見学会マップ作成



九州ブロック協議会

- 年2回研修大会参加

県との連携

- 住宅フェア（県内3市）
- 建築無料相談 など



参加者全員集合（歴史博物館正門前にて）



広報活動



県士会発行冊子に女性委員会「べっぴんしゃん」紙面にて定期的に活動報告・予定などを掲載

市民とのふれあい

▽セミナー



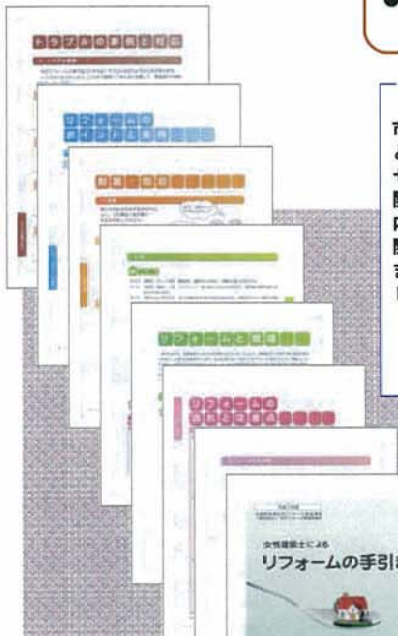
△講座（4会場）

建築士会活動

- 県内研修大会参加
- 青年部との連携 など

セミナー・講座・住宅無料相談会

市民や大学建築学科の学生などを対象とした講演会、事業者向け・消費者向けセミナー（2回）を開催。リフォームに関する冊子を編集発行し、市民対象に市内4ヶ所の公民館でリフォーム講座を開催。また、毎月1回の住宅無料相談会を継続して実施。



冊子編集発行

リフォーム講座や建築無料相談会にて活用



▽講演会



熊本県建築士会 女性部会

会員数 110名 1991年設立

女性部会総会風景



毎年5月に開催される総会には、女性会員数110名の中20名前後の女性会員の参加がある。モットーは、いつでも だれでも 気軽に参加できる建築士会女性部会です。

今年の総会は、ヘルパーさん不要との連絡があり、その言葉を信じて準備していなかった。結果、群れる子どもたちは、相乗効果をもたらし、走る、声を出す・・・大変だった。

こんなところに子どもを連れてくるなんて・・・とは言えずやはり準備しなかった執行部が悪いのです。

子育て中の建築士支援隊
建築士会女性部会でした

住まいづくり相談会風景



世紀末の騒々しい中1999年6月24日
第4土曜日の午後梅雨の大雨の中スタート

毎月1回の定例の相談会として第4土曜日の午後3時から4時までの3時間だけの無料相談会です。場所は一般の相談者が足を運びやすいのでは、ということで熊本の郷土のデパート鶴屋百貨店でちょっとしたスペースを借り、開催しています。

シックハウス

相談会開催での一番の収穫は、熊本市の保健所とのコラボで、シックハウス勉強会を立ち上げたことです。保健士、建築士のそれぞれの立場で意見を出し合い、当時社会問題となっていたシックハウス問題に取り組みました。お互いとても勉強になりました。「家づくりとシックハウス症候群」をテーマに保健士、建築士からのアドバイスを21のリーフレットにまとめ作成し、共同で相談会も開催しました。



総会に合わせて講演会も開催します。せっかく一緒に集まる機会を、研鑽の場という事で、多方面の方にお越しいただき、お話をさせていただきます。



前部会長



今年総会に出席した子どもたち

コレクティブハウスのお話



いぐさ農家の岡さん



研究発表してくれた神田会員



いつでも だれでも 気軽に・・・
時には住宅展示場やイベント会場での開催
建築士の日記念事業の一環として
いつもの相談会を拡大し
青年部会と共に無料相談会を開催しました。

住まいづくり相談会によせて

最初の頃は、新築やリフォームに関する漠然とした相談が多かったように思います。ところが最近では、新築・リフォームの計画があり、図面も出来上がり、それでも不安を感じて図面持参でご相談にいらっしゃる方が多くなりました。

情報があふれ、断片的な知識と理想の家づくりといろいろな制約とで、混乱してしまい、先に進めないというような状況です。

その他新築時やマンションの購入後のクレームに関することも多くなってきています。

県建築士会女性部会員の協力で10年以上続けることができました。長年住まいづくり相談会を開催して感じたことは、地域の建築士と市民（クライアント）との交流の場を設け、お互いに家づくりについて、考え勉強していく必要があるのではないかと思います。今後、この相談会が、そのような場になることを期待して”継続は力なりとがんばっていきます。



私の建築スタイル



子供を**おんぶ**して歩く姿、それがここ5年の私のスタイルです。建築士になって、10年余りですが、結婚してからあつという間に3人の母になりました。自営業なので出来たことですが、「産休」「復帰」を繰り返す、その間に建築基準法はめまぐるしく変わりました・・・何とか周囲の協力もあり、講習会だけは参加して今にいたります。1人目の時から「復帰」と、ありがたいことに仕事の依頼があり、常におんぶで打合せや現場に行っています。（もちろん、危険作業の時は行きませんよ）職人さんが、抱っこしてくれている間に足場に登ったり、施主が抱っこしてくれていた。おかげで、すっかり長男次男は現場好き、重機を見て「かっこいい〜」材料の砂山で砂遊びをしています。現場の方々には、「なんね**英才教育**ね」とか言われたり、私の周りのプチ子育て支援に感謝です。**2年前**から、事務所のスペースを利用して「親子サロン」なるものを始めました。子育てサークルとは違い、保護者が子連れで自由に遊べる場なので、私のママ友・親子サロンのチラシを見た人が主に来て下さいますが、阿蘇という土地柄ふらっと寄ってみたという観光客の御一家もたまに来て下さいます。「子供が長距離移動で飽きてしまっ、こういうところがあると助かります。」と言われると、阿蘇のイメージアップにも役立っているかな？昨年12月に県の助成を受けて『親子のHAPPYDAY』と銘打って、子育てサークル学習会を催しました。天候にも恵まれ200人余りの来場者がありました。スタッフになってくれたママ友13名の協力に本当に感謝しました。ところが、そのママ友から「自分でもこんなことができるんだと自信になった」「変化のない生活に変化があつて、楽しかった」と逆に感謝されてしまいました。少しのぼせて、また別のイベントができればいいな・・・なんて思っています。話は建築からそれてしまいましたが、子供が生まれて**気づくこと**が多くあります。段差のこと・トイレのこと・コンセントのこと。なんとなく設計していたと言えれば語弊がありますが、今の日常は不便がいっぱい！。その体験をこれからの設計に生かしたいです。

最後に、3人目の子供はなんと女の子、今までは男の子だったから「現場」でも喜んだのですが、いささか残念してるかも・・・

熊本県建築士会女性部会のモットー「いつでも、だれでも、気軽に」を実践しているような私の建築スタイルです。

熊本県建築士会 光原

大分県建築士会 女性部会

会員数70名 1997年設立

大分県のスギの生産量は全国第2位で、この豊富な資源をもとに、県内でスギが生産されています。県産材の需要拡大のために生まれたのが大分方式乾燥材

大分方式 乾燥材の特徴

- (1) 表面割れが少ない (2mm以下)
- (2) 内部割れがほとんどない
- (3) 含水率が2.0%以下
[マイクロ波含水率計により、全製品を内部まで計測]
- (4) 木材が本来持っている色・つやが残っている
- (5) 木材が本来持っている香りが残っている
- (6) 通常の人工乾燥材にくらべ、石油の消費量が少ないので環境に優しい

大分方式乾燥材の生産工程



①人工乾燥機に通常より過剰程度入れるところ、3日以下で出します。このため木が本来持つ色や香りが比較的残ります。



②3～6ヶ月間、天然乾燥します。太陽の熱と風で、ゆっくりと含水率を下げます。



③内部割れがほとんどなく、表面割れが少ない、高品質な乾燥材「大分方式乾燥材」ができます

この大分方式乾燥材をもっと知ってもらおうと、大分県建築士会女性部会では県産材木造住宅建設支援事業として平成18年より【県産材を使って木の家づくり】をテーマに女性建築士による住宅セミナーを行ってきました。

18	①見学会 (18/11/11) ・製材所見学 (大分方式乾燥木材の生産工程) ・木造住宅施工現場見学	②木造住宅講演会 (19/1/11) ・「木の住まいの育て方、付き合い方」	③木造住宅講演会 (19/3/20) ・「健康で長生き出来る木造住宅」
			
19	①見学会 (19/6/10) ・製材所見学 ・県産木材補助金制度を利用した物件 木造住宅施工現場見学	②木造住宅講演会 (19/2/25) ・「自然住宅、健康住宅」	③見学会 (19/11/10) ・女性建築士による設計物件 ・上棟式を終えたばかりの現場見学 ・女性棟梁の話を聞きながら見学
			
20	①木造住宅講演会 (20/9/20) ・「木の家づくりと子育て」 ・ワークショップ	③見学会 (20/12/13) ・県産材を使った在来木造住宅の完成内覧会 ・構造見学会	④木造住宅講演会 (21/2/28) ・「木の家づくりと子育て」 ・ワークショップ
			
21	①見学会 (21/9/26) ・大分方式乾燥材の製材所見学 (産伯広域森林組合) ・木造住宅施工現場見学	③木造住宅講演会 (22/3/4) ・伝統工法を手掛ける大工棟梁による講演会	
			

宮崎県建築士会 女性委員会 会員数72名 1990年設立

過去2年間の活動報告

■ きらら研修会

2008年12月12日

平和台公園と下北方の路地を行く

平和台公園は宮崎市の北西部、標高60mの古墳台地に広がる県立公園です。その中に平和のシンボルとしてそびえ立っている「平和の塔」は、皇紀2600年を記念して昭和15年に建立されたものです。「平和の塔」の背景にあった史実を聞きながらそこには古事記発祥の地と伝えられているものも存在していました。それらを知り得た上で見慣れた「平和の塔」を改めて建築士の視点から見直したときどのように感じたのでしょうか。参加者にアンケートも実施してみました。ご興味のある方はどうぞブログへ。平和台公園を囲む下北方にも伝説のひとこまは散在しています。懐かしい路地の横には宮崎県近代和風建築冊子にも紹介されている谷口邸を始め、神武天皇が東征するまでの”宮”の跡地とされていた皇宮神社とすぐそばの「皇軍発祥の地」の塔、皇宮屋の北方向に景清廟(源平合戦で負けた平家の景清が仏門に帰依していたと伝えられる草庵)もありますので散策しました。最後は今回散策した地盤をも知っておきましょうということで士会メンバーによる地盤の講習会を行いました。



古事記の一部が表現された石膏レリーフ



彫刻家 日名子実三氏デザインの青銅ドア
(ひなごじつぞう)

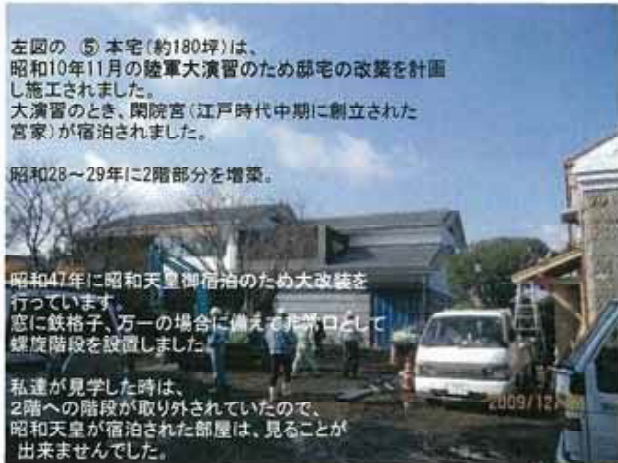


平和台公園近辺の公民館で地盤の講習会

2009年12月12日

都城島津邸の歴史と都城地域の地層の話

都城島津家の既存修復と歴史史料館が完成間近でしたのでこの機会にと現場見学会を行いました。その後、地層の講習会を行いました。



■ 九州ブロック大会

2010年1月30日

平成21年度九州ブロック大会～パッションイン宮崎

九州では8県持ち回りで年に2回九州大会があり、今年は宮崎県日南市にて開催されました。テーマは～ものづくりを通してのコミュニケーション～第3分科会を担当した女性委員会ではたまには女性らしく懐かしくということと調理実習を提案。そのタイトルはくっちみろかい。郷土料理の魚うどんとおどつ天を7班(総勢38名)で作り参加者全員に振舞われました。



地元の漁連婦人部の方々が講師です



パッションはお祭りですが



またやってみたくらいと思っただけが目標です

(社)鹿児島県建築士会女性部会

薩摩おごじょの活躍をみったもんせ

あゆみ

平成元年より活動を始め、平成6年6月に女性部会として設立しました。

H4. 親睦誌「よかおごじょ」発行



H6. "高齢化社会をみつめて"の学習を始める。各地で「バリアフリー」フォーム講習会を催す

H8. 県委託による「すこやか住宅リフォーム」の編集に携わり、これをテキストとした技術講習会に講師として派遣された。



H9. より市民ギャラリーほか各地にてパネル展示を始める



H17. 「薩摩街道めぐり隊」発足。埋もれた街道を甦らせ、一般市民とともに旧街道をめぐる。



上記の活動は全て現在も継続し、次の世代に引きつがれています。



勉強会
建物見学

住宅相談
窓口開設

会員の交流
研修

街道班事業
(薩摩街道めぐり隊)



雄大な桜島に恵まれた鹿児島の地より、まちづくり・住まいの相談・地域貢献活動と、元気な声を発信し続けています。

沖縄建築士会 女性委員会

1993年設立
会員数 57名
(2010年7月)



平成21年8月

第9回建築セミナー



沖縄県は離島県ということもあり、建築家の講演へ参加する機会が少ないのが現状です。地域の活力となる次世代の人材育成の一環として有名建築家に講演して頂くことで、若手建築士の育成、沖縄県の技術躍進へと繋げていくことを目的とする。



平成22年4月

tatami セミナー



建築物を映えさせる床敷など、近年では新築時に造園まで依頼される事も多く建築士として『植栽』について見識を深めるべく、(社)沖縄県造園建設業協会・久田氏に講演して頂き、会員限定の無料セミナーを開催する。

平成21年12月

あかりセミナー

『これからの集うあかり』



あかりには、人の気持ちを豊かに変化させる力があります。ただ明るだけでなく、心から安らげるあかり。家族、友人といる時間をもっと楽しむあかり。心地よい眠りに誘ってくれるあかり。あかりの魅力、あかりの力をプロから学ぶと同時に、ランプ作りを通して、インテリアコーディネートするのと同じようにあかりの演出を学ぶことを目的とする。

平成21年7月

親睦

バドミントン大会



業務の忙しさや生活が便利になることなどにより、体を動かす機会の減少へと結びついている現代において、健康の保持増進や体力の向上のみならず、スポーツを通して体を動かすという人間の本源的な欲求に答えるとともに、爽快感、達成感、相互の連帯感等精神的充実や楽しさ、喜びをもたらしながら交流を図る機会を得られる。

平成22年2月

史跡巡り in 読谷村



本物の歴史・文化財に触れる機会を提供するとともに、これらの取り組みを通じて、地域の文化資源を活かした魅力ある街づくりを体験して頂くとともに、ボランティア以外の事業として、『楽しい、また士会へ参加したい』と思わせるような環境を提供することを目的とする。

平成21年9月

みんなでクッキング in

クリナップ沖縄
ショールーム



勉強会・ボランティア以外の事業として、『楽しい、また士会へ参加したい』と思わせるような環境を提供すると共に、建築に関連する調理器具の体験をして頂くことを目的とする。非会員や、会員の家族の参加を呼びかけ、会員はもとより家族同士の交流と士会活動のPRにも繋がり家族の方にも士会活動を理解して頂く機会が得られる。

平成22年3月

進路講話



どの業界も若手不足と言われる中、建築業界の底辺拡大と20年後の未来を切り開く為にも、この授業は大切だと考えます。青年・女性委員会に限らず多くの建築士に語ってもらい、建築士のPRを兼ね学生達へ建築に対する強い意識付けを行っていく事を目的とします。

平成21年8月

折り紙建築教室



建築士との交流を深め、未来を担う子供達の健全育成を図る為、『折り紙建築』教室を行う。この体験を通じて、子供達が建築に対して少しでも関心・興味を持ってもらい、建築士という職業を知るきっかけにする。